

| | | | |
|---|---|---------|--------|
| 年度 2009 学期 後期 | 曜日・校時 金 4 | 必修選択 選択 | 単位数 2 |
| 授業科目/(英語名) | 生体の機能(口の健康と歯科治療) Basic Human Physiology (Oral Health and Dental Treatment) | | |
| 対象年次 1・2 年次 | 講義形態 講義 | 教室 | |
| 対象学生(クラス等) | 全学部 | 科目分類 | 人間科学科目 |
| 担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 担当教員: 村田比呂司 /Eメールアドレス: hmurata@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 歯学部C棟6F /TEL:095-819-7690 /オフィシアワー: 授業の前後に質問を受け付けます。 | | | |
| 担当教員(オムニバス科目等) | 朝比奈 泉、齋藤俊行、澤瀬 隆、吉田教明、川崎五郎、白石孝信、真鍋義孝、山邊芳久、石飛進吾、佐々木康成、鳥巢哲朗、柳口嘉治郎、吉村篤利 | | |
| 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 歯を含めた口腔の健康は、われわれの健康維持そして質の高い生活に、重要な役割を果たしています。そのため、口腔内に虫歯、歯槽膿漏など何らかの疾患が生じた場合、歯科医院を訪れます。本授業では、口の健康の重要性と歯科治療を受ける際に理解しておけば役に立つ事項を講義します。 授業方法: それぞれの専門家により、基礎的な歯科知識、歯科医院および大学病院で行われている一般的な治療、および現在大学病院で行われている専門的な治療、先端的な研究を、パソコン等による講義で紹介します。 授業到達目標: 「口腔の健康の重要性および健康に保つための方法を説明できる」ことを到達目標とします。 | | | |
| 授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 歯科医学・医療はいくつかの専門に分かれています。本授業では、口腔解剖、歯科材料、齲蝕、歯周病、義歯、インプラント、小児歯科、口腔外科、予防、摂食・嚥下リハビリテーションなどの専門家による、わかりやすい講義を行います。また授業の前後に、授業に関する内容のみならず、受講生の歯科に関する相談も受け付けます。 第1回 義歯の話 (村田比呂司) 第2回 齲蝕の程度と処置法 (柳口嘉治郎) 第3回 ロと歯の構造 (真鍋義孝) 第4回 歯科材料の機能と性質 (白石孝信) 第5回 顎運動の制御 (鳥巢哲朗) 第6回 人工物で作る歯(澤瀬 隆) 第7回 小児歯科治療について (佐々木康成) 第8回 咀嚼と健康 (吉田教明) 第9回 再生医療とは何か (朝比奈 泉) 第10回 歯周病の症状と治療 (吉村篤利) 第11回 ロの中のがん (川崎五郎) 第12回 顎関節の構造と機能障害 (山邊芳久) 第13回 摂食・嚥下リハビリテーション (石飛進吾) 第14回 う蝕と歯周病の予防 (齋藤俊行) 第15回 授業の総括(試験含む) (村田比呂司) | | | |
| キーワード | 健康、歯科医療 | | |
| 教科書・教材・参考書 | 教科書は使用しませんが、必要に応じて資料などを配布します。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験(60%)および授業への貢献度(40%)により評価します。なお定期試験は記述式とします。 | | |
| 受講要件(履修条件) | 全授業の2/3以上の出席、および定期試験を受けないと成立しません。 | | |
| 本科目の位置づけ/学習・教育目標 | 口腔の健康の重要性および歯科医療を理解することにより、自らの健康増進に役立つことができることを目標とします。 | | |
| 備考(準備学習等) | 疑問点および聞きたいことがあれば、遠慮なく質問してください。 | | |